

授業科目名	在宅看護Ⅰ			担当教員	西村 和美	
開講年次	2年後期	セメスター	4		時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	必修	授業形態	講義		使用教室	
授業の目的	地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅で提供する看護に必要な知識、方法を学ぶ。					
到達目標	1. 在宅看護をとりまく社会の変化と在宅看護の特徴を説明できる。 2. 在宅看護の対象としての療養者および家族のとらえ方を理解できる。 3. 医療保険および介護保険による訪問看護制度を理解し、在宅看護提供のしくみについて説明できる。 4. 在宅医療について、代表的医療機器（HOT, NPPV, PEG, HPN）の演習を通して、機器の取り扱いと療養者・家族への支援について説明できる。 5. 在宅で療養する慢性疾患、難病、認知症をもつ方への看護と家族支援について説明できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	2年前期までの「看護の基盤」科目で学んだ看護の対象は、主に病院等で治療を受けている人であるが、本科目では、看護の場を在宅（自宅またはそれに近い場）に広げて学修する。多様化する社会や地域で生活する療養する人々とその家族の特徴を理解し、生活の場で療養者やその家族の健康課題に対する「問題解決力」を養う。在宅看護の具体的な内容については、特に老年看護Ⅰ、慢性看護Ⅰの知識を活かして看護の展開を考える科目となる。さらに、本科目での学修が在宅看護Ⅱ、および在宅看護実習に直接つながる。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		○		◎		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	在宅看護概論－社会の変化と在宅看護の役割について	講義	予習：在宅看護論①の在宅看護の概念を熟読 復習：社会の変化と在宅看護（ノートまとめ）		各30分	西村
2	在宅看護の対象としての療養者のとらえ方（1）	講義	予習：在宅看護論①の在宅療養者と家族の支援 p42-51 を熟読 復習：在宅看護論②環境整備を熟読（ノートまとめ）		各30分	西村
3	在宅看護の対象としての療養者のとらえ方（2）	講義	予習：在宅看護論①の脳梗塞の事例 p239-240 を熟読 復習：脳梗塞の事例に関する制度（ノートまとめ）		各30分	西村
4	在宅看護の対象としての家族のとらえ方	講義	予習：在宅看護論①の在宅療養者と家族の支援 p52-67 を熟読 復習：家族システム（ノートまとめ）		各30分	西村
5	在宅看護をとりまく社会制度の理解（1）－訪問看護制度の背景と概要の理解－	講義	予習：在宅看護論①の在宅療養を支える訪問看護を熟読（第1～4回に関する小テスト） 復習：訪問看護制度（ノートまとめ）		60分 30分	西村
6	在宅看護をとりまく社会制度の理解（2）－退院支援とケアマネジメント－	講義	予習：在宅看護論①の地域包括ケアシステムにおける在宅看護 p77-106 を熟読 復習：退院支援、ケアマネジメント（ノートまとめ）		各30分	西村

7	訪問看護提供のしくみ ー介護保険と医療保険ー	講義	予習：在宅看護論①の地域療養を支える制度を熟読 課題：在宅看護制度演習プリント（小テスト）	60 分	西村
8	在宅医療（1）在宅医療処置の種類と対象疾患、援助方法、感染予防	講義	予習：在宅看護論②の療養を支える看護技術を熟読 復習：在宅医療のしくみ（ノートまとめ）	60 分 30 分	西村
9	在宅医療（2）在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法（主にNPPV）について 実際の医療機器を使用して演習を行う	講義 演習（実技）	予習：在宅看護論②のHOT, NPPVを熟読、ノート記載 復習：ノートまとめ	60 分 30 分	帝人 在宅医療 羽佐古
10	在宅医療（3）在宅経管栄養（PEG）、在宅中心静脈栄養（主に皮下ポート）について、医療機器会社担当者からの講義	講義	予習：在宅看護論②のHEM, HPNを熟読、ノート記載 復習：ノートまとめ	60 分 30 分	(株)メディ コン平井
11	在宅療養者を支える 地域包括ケアシステム	講義 演習（GW）	予習：在宅看護論①の地域包括ケアシステムにおける在宅看護を熟読 課題：地域包括ケアシステム（社会資源）に関する課題	120 分	西村
12	在宅で療養する認知症をもつ人と家族への看護	講義（AL）	予習：在宅看護論①の認知症の事例 p251-252 を熟読、課題学習 復習：認知症をもつ人に対する訪問看護の役割（ノートまとめ）	各 30 分	西村
13	在宅で療養する難病をもつ人と家族への看護（1） （筋萎縮性側索硬化症など）	講義（AL）	予習：在宅看護論①のALSの事例 p255-256 を熟読、課題学習 復習：難病対策（ノートまとめ）	60 分 30 分	西村
14	在宅で療養する難病をもつ人と家族への看護（2） （パーキンソン病）	講義（AL）	予習：在宅看護論①のパーキンソン病の事例 p237-238 を熟読 復習：ノートまとめ	60 分 30 分	西村
15	在宅看護Ⅰのまとめ 定期試験・課題等に関するフィードバック	講義	復習：演習プリント、ノートまとめ	60 分	西村
先行履修科目					
テキスト		臺有桂 他編：ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版，2019. 臺有桂 他編：ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 地域療養を支える技術。メディカ出版，2018.			
参考文献		波川京子 他編：在宅看護学（第5刷増補新訂版）。クオリティケア，2016. 河原加代子：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論（第4版）。医学書院，2013.			
評価方法		課題（授業ノート・小テストを含む）（20％） 定期筆記試験（80％）			
教員等の実務経験		看護師として臨床経験のある教員と医療機器会社の看護師等が、地域で生活する療養者やその家族に対しての看護活動の経験を活かして在宅看護について講義や演習を行います。			
メッセージ		在宅看護Ⅰでは『在宅看護提供のしくみ』をよく理解することが重要です。特に、訪問看護制度や介護保険制度、在宅療養者に必要な社会資源については「わかりやすいノートの作成」がその後の在宅看護実習や国家試験対策にも効果的です。			